

三、一色範氏書下写

解説

建武四年（一三三七）三月、菊池武重討伐のため、大友一族の野津大炊助太郎に軍勢動員を要請した一色範氏が、その野津氏に対し、それまでの勲功を賞し、豊後国の菊北教貞がかつて所有していた地頭職と、同国植田荘領家職の内、田地五町を与えたもの。田中稔氏によれば（『国立歴史民俗博物館研究報告』第五集）、前号文書と本文書は正文ではなく、後世の写しであろうとのことである。